2024年度	授業計画
とひとサギル文	7又未可世

一級自動車工学科								
時期	4年前期	単元	実習	教科名	インターン			
科目	体験実習	教科書等				発行日		
総時限	140時限 (224時間)	持参品				教科担当	教科担当	

1. 実務経験のある教員による授業科目 該当 非該当

学生本人が認証工場に出向き、従業員である自動車整備士から、点検作業、一般作業、工場経営を直接学ぶ。

2. 教科の目的(この学科の狙い、目的を明確に記入)

- 1. 学校で学んだ理論と技術を企業において実践し、習熟度を確かめる。
- 2. 今後の学習課題を具体的に自覚し、残された在学期間の目標とする。
- 3. 生産性を配慮した作業方法、お客様応対などについて学び、サービス工場の実務をより深く理解する。

3. 授業の到達目標(この授業を学ぶことで学生は何を理解し何が出来るようになるのか)

- 1. 実務に即した、点検、整備ができる
- 2. お客さまから料金を頂いて整備をするということの意味を理解している
- 3. 社会人としての厳しさと責任の重さを理解している

4. 学習評価 (期末試験での主な試験項目)

レポート内容にて60(70)点以上を合格とする。レポート評価基準は設定課題に対する取り組み結果や今後の方策内容で判断 する。

5. 準備学習

			024年度 授業計画 一級自動車工学科		
期	4年前期 単元	実習	教科名	インターン	
限	授業概要(時限ごとの主な	主な授業の	内容	8. 教科書、資料、備品類 資料、偏品類	数
1	■企業の方針を学ぶ その ■企業の方針を学ぶ その	1		出動簿(出欠) 日報用紙	
3	■企業の方針を学ぶ その	3		レポート用紙	
4	■企業の方針を学ぶ その ■企業の方針を学ぶ その			自己紹介シート自己採点表	
6	■会社各部署の業務内容、	人員配置、整任	第工場の設備を学ぶ その1	研修先から指示されたもの	
7 B	■会社各部署の業務内容、■会社各部署の業務内容、	人員配置、整任	第工場の設備を学ぶ その2 第工場の設備を学ぶ その3		
9	■会社各部署の業務内容、■会社各部署の業務内容、	人員配置、整任	第工場の設備を学ぶ その4 第工場の設備を学ぶ その5		
.1	■整備工場の組織、業務内	1容を学ぶ その)1		
2	■整備工場の組織、業務内■整備工場の組織、業務内				
.4	■整備工場の組織、業務内	1容を学ぶ その)4		
.6	■整備工場の組織、業務内 ■CS活動を学ぶ その1	容を学ぶ その	05		
.7	■CS活動を学ぶ その2				
.8	■CS活動を学ぶ その3■CS活動を学ぶ その4				
0.0	■CS活動を学ぶ その5 ■組織内での挨拶、お客様		礼儀、マナーを身につける その		
21	■組織内での挨拶、お客様	に対する挨拶、	礼儀、マナーを身につける その	02	
23	■組織内での挨拶、お客様■組織内での挨拶、お客様	に対する挨拶、	礼儀、マナーを身につける その 礼儀、マナーを身につける その	94	
25	■組織内での挨拶、お客様	に対する挨拶、	礼儀、マナーを身につける その		
26 27	■電話における応対、礼儀 ■電話における応対、礼儀	、マナーを身に	つける その2		
18	■電話における応対、礼儀 ■電話における応対、礼儀			-	_
00	■電話における応対、礼儀	、マナーを身に	つける その5		
1 2	■来店願客への対応、礼信■来店願客への対応、礼信	、マナーを身に	つける その2	#	_
3	■来店顧客への対応、礼信	、マナーを身に	つける その3		
14	■来店顧客への対応、礼■来店顧客への対応、礼	,儀、マナーを身	Hにつける その4 Hにつける その5	+	
16	■日常の整備作業を体息■日常の整備作業を体息	対る その1			
17 18	■日常の整備作業を体験	対る その3			
10	■日常の整備作業を体験■日常の整備作業を体験	戻する その4 戻する その5	·		_
1	■日常の整備作業を体制	対る その6			
12	■日常の整備作業を体験■日常の整備作業を体験			-	_
14	■日常の整備作業を体験	対る その9			
15	■日常の整備作業を体息■部品発注システムを理り	解する その1	J	+	_
17	■部品発注システムを理り■部品発注システムを理り	解する その2			
18 19	■部品発注システムを理り	解する その4			
i0	■部品発注システムを理り ■車両受入から納車まで		fa 701	-	
52	■車両受入から納車まで	の流れを理解す	する その 2		
3	■車両受入から納事まで ■車両受入から納事まで	い流れを理解 の流れを理解	9 a その3 する その4	+	_
i5	■車両受入から納車まで ■車両受入から納車まで	の流れを理解	する その 5		
7	■車両受入から納車まで	の流れを理解	する その7	+	
i8 i9	■車両受入から納車まで ■車両受入から納車まで	の流れを理解す	する その8	-	Ξ
9	■車両受入から納車まで	の流れを理解	#8 109		
i1	●作業効率化の実際を当●作業効率化の実際を当	#ぶ その2		+	_
53	■作業効率化の実際を与 ■作業効率化の実際を与	#ぶ その3			
55	■作業効率化の実際を対	きぶ そのち			
6 7	■作業効率化の実際を当■作業効率化の実際を当	#ぶ その6 #ぶ その7		#	_
8	■作業効率化の実際を当 ■作業効率化の実際を当	たぶ その8			
9	■作業効率化の実際を与	たぶ その10		+	
71	■見積書の作成を学ぶ	₹01 ₹02			
3	■見積書の作成を学ぶ	₹03			
74	見積書の作成を学ぶ見積書の作成を学ぶ			+	
6	■日常の整備作業を体表■日常の整備作業を体表	対る その11			
78	■日常の整備作業を体験	対る その13		#	
9	■日常の整備作業を体験■日常の整備作業を体験	対る その15	<u>-</u>	#	_
31	■高難度整備作業を体制	(人高度修理)			
33	■高難度整備作業を体標■高難度整備作業を体標	炎し高度修理	去を学ぶ その3		
14	■高難度整備作業を体制■高難度整備作業を体制	炎し高度修理:	去を学ぶ その4	-	Ξ
86	■新技術に対する整備作	業を体験し新	技術整備を学ぶ その1	#	
37 38	■新技術に対する整備作■新技術に対する整備作	業を体験し新	技術整備を学ぶ その3	-	
19	■新技術に対する整備作 ■新技術に対する整備的				
00	■新技術に対する整備作■整備工場の維持に必要	要な環境管理と	安全管理を学ぶ その1		
12	■整備工場の維持に必要■整備工場の維持に必要			-	
14	■整備工場の維持に必要	要な環境管理と	安全管理を学ぶ その4		
95 96	整備工場の維持に必要整備工場から排出され	る産業廃棄物	の処理を学ぶ その1	+	
7	整備工場から排出され整備工場から排出され	る産業廃棄物	の処理を学ぶ その2		
88	■整備工場から排出され	る産業廃棄物	の処理を学ぶ その4		
00 01	■整備工場から排出され■整備工場における安全				
02	■整備工場における安全	管理を学ぶ そ	:o 2	#	
03 04	整備工場における安全整備工場における安全		603 604	+	_
05	■整備工場における安全■日常の整備作業を体験	管理を学ぶ そ	:05		
07	■日常の整備作業を体験	対る その17			
80	■日常の整備作業を体験■日常の整備作業を体験			-	_
10	■日常の整備作業を体験	対る その20		#	
11 12	■日常の整備作業を体息■日常の整備作業を体息	する その22		+	_
13	■日常の整備作業を体験■日常の整備作業を体験	対る その23			
15	■日常の整備作業を体制	対る その25			
16 17	■車両受入から納車まで ■車両受入から納車まで	の流れを理解す	する その11 する その12	-	_
18	■車両受入から納車まで	の流れを理解す	する その13		
19 20	■車両受入から納車まで ■車両受入から納車まで	の流れを理解す	する その15	+	
21	■車両受入から納車まで	の流れを理解す	する その16		
22 23	車両受入から納車まで車両受入から納車まで	の流れを理解	する その18		
24	■車両受入から納車まで ■車両受入から納車まで	の流れを理解	する その19		
26	■作業効率化の実際を与	#ぶ その11			
	■作業効率化の実際を当■作業効率化の実際を当	Fぶ その13			_
29	■作業効率化の実際を対	きぶ その14			
30 31	作業効率化の実際を当作業効率化の実際を当	学ぶ その16		+	
32	●作業効率化の実際を当●作業効率化の実際を当	ド ぶ その17			
34	■作業効率化の実際を与	学ぶ その19			
36	■作業効率化の実際をき■まとめ その1	-w €020		+	
	■まとめ その2 ■まとめ その3	_		-	Ξ
39	■まとめ その4 ■まとめ その5				
				11	

			2024	4年度	授業計	画			
一級自動車工学科									
時期	4年前期	単元	実習	教科名		インターン			
7.	安全(KYのため必								
番号	作業	名	j	遵守事項		災害事例		チェック	
1	車両移動		・車両移動は行わない・移動が必要な場合は店舗の方に依頼する						
2	リフトの使用に関わる注	注意事項	・車のセット及びリフト操作手順を遵守する・ボード上のソフトアタッチメントとボディーの間に手を入れない						
3	エンジン始動時の注意	事項	けを行い、注意喚起	「エンジン始動します 起後に周囲の安全を を待ってから始動する	確認の				
8. 授業レイアウト(写真の貼り付けも可) 実習場 座学教室									
						remark of Street			